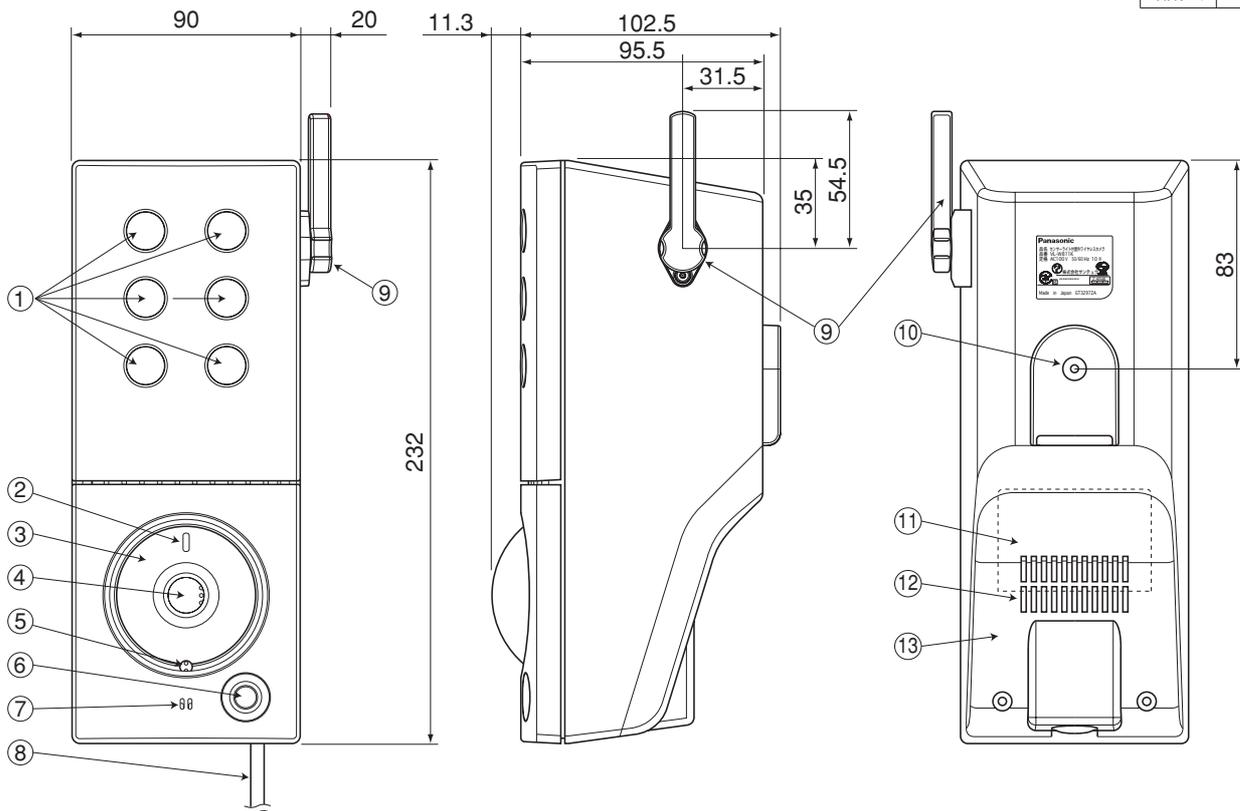


単位	mm
縮尺	1/3

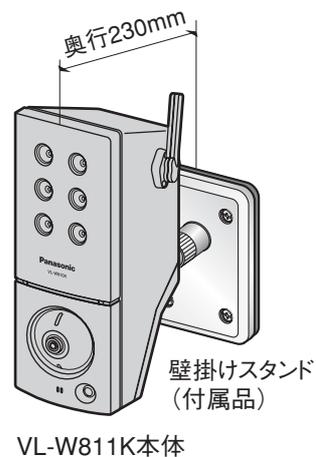


■仕様

電 源	AC100V (50Hz /60Hz)
消 費 電 力	待ち受け時 約1.5W、動作時:約10W (LEDライト点灯時)、約2W (LEDライト消灯時)
外形寸法 (アンテナ等突起部除)	高さ232×幅90×奥行102.5 mm (スタンドなし時) 高さ232×幅90×奥行230 mm (スタンド取付時)
質 量	約1040 g (本体のみ)
取付方法	付属の壁付けスタンドを使用
使用環境条件	周囲温度 -10℃~+50℃ 湿度20~90%以下 ただし結露しないこと
通信可能距離	約100m (親機との見通し距離)
外 観 材 質	PC+ABS樹脂、アルミニウム
無線通信方式	2.4GHz 周波数ホッピング方式
撮像素子	1/4型CCD センサー (30万画素)
出力画像	JPEG圧縮コマ送り画像
最低被写体照度	1ルクス
焦 点	固定 (2m~∞)
撮 像 範 囲	水平:約50°、垂直:約37°
センサー検知方式	焦電型赤外線センサー
センサー検知範囲	水平:約55°、垂直:約20°、距離:約5m (周囲温度:約20℃時)
LEDライト※1	白色LED 6個
防 水 性	防雨構造 (JIS C 0920 防水保護等級 3) ※2
取付角度調整	水平:約±90°、垂直:約±45°

番号	名 称	番号	名 称
①	LEDライト	⑧	電源コード
②	ランプ	⑨	アンテナ
③	レンズカバー	⑩	スタンド取付口
④	カメラレンズ	⑪	外部入力端子 およびスイッチ類
⑤	明るさセンサー	⑫	スピーカー
⑥	人感(熱)センサー	⑬	カバー
⑦	マイク		

■取付け図



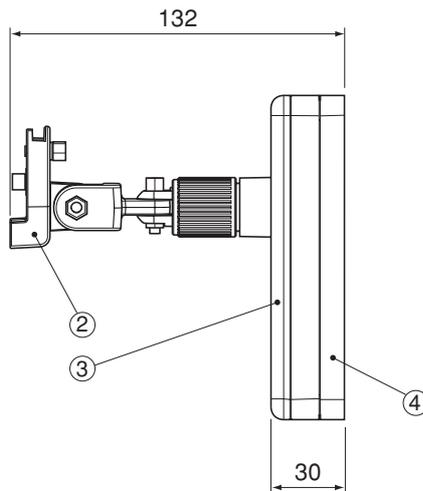
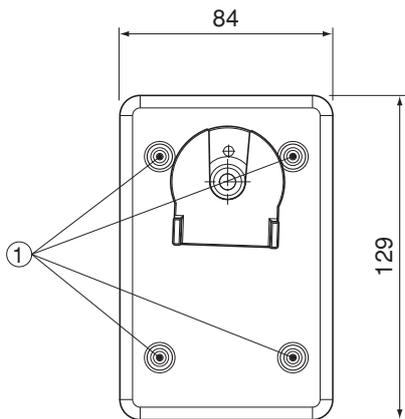
※1 正面5mで約7.5ルクス、正面から左右20°5mで約2.3ルクス

※2 鉛直から60°の範囲の降雨によって、有害な影響を受けない程度の防水性能。

仕様/外形寸法図

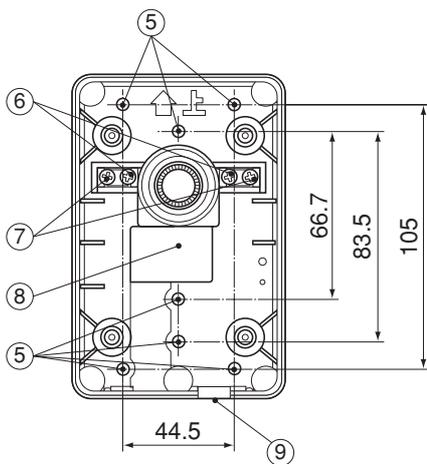
品 番	VL-W811K
品 名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

単位	mm
縮尺	1/3

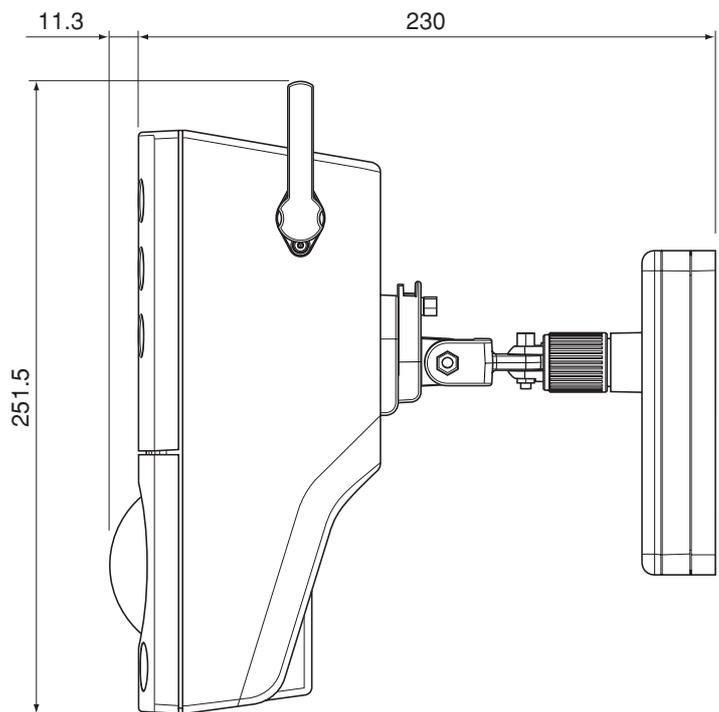


質量：約360g(壁掛けスタンド本体のみ)

■ スタンド取付け用ねじ穴詳細寸法
(スタンドカバーを外した図)



■ VL-W811K 本体取付け時寸法



番号	名称
①	スタンドカバー止めねじ
②	台座部
③	スタンドカバー
④	スタンド
⑤	スタンド取付け用ねじ穴
⑥	AC100V電源線接続用端子台
⑦	予備電源ケーブル接続用端子台
⑧	AC100V電源線通し口
⑨	予備電源ケーブル通し口

※⑤スタンド取付け用ねじ穴は、上下2カ所ずつ(計4カ所)使いやすい穴を選びます。

仕様/外形寸法図

品番	VL-W811K
品名	壁掛けスタンド(付属品)

■カメラの使用条件

- 親機との間に何も障害物がない場合、約100m以内の距離で使えます。
- 親機との間に下記のような障害物などがあると電波が遮られて極端に弱くなります。このため、親機との距離が近くても、プツプツ音がして音声途切れたり、画像が乱れたり、画像の更新が遅くなったり、圏外になって使えないことがあります。
 - ・金属製のドアや雨戸、防火ガラス
 - ・アルミはく入りの断熱材が入っている壁
 - ・コンクリート、石、レンガやトタン製の壁
 - ・壁を何枚もへだてたところ
- 補聴器をお使いの場合、補聴器の種類によっては通信中に雑音が入ることがあります。

<傍受について>

本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースがあります。

- 傍受（ぼうじゅ）とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

■電波の干渉について

本機は、2.4GHz（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器が使用していますので、電波の干渉による音声や画像の乱れなど、本機や他の機器の動作や性能に悪影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の機器から約3m以上離して設置することをおすすめします。

- 電子レンジ
- 無線LAN機器（ルーター、AV機器、防犯機器など）
- その他、2.4GHzの周波数帯の電波を使用している機器
 - ・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
 - ・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
 - ・万引き防止システム（書店やCDショップなど）
 - ・アマチュア無線局
 - ・工場や倉庫などの物流管理システム
 - ・鉄道車両や緊急車両の識別システム
 - ・マイクロ波治療器
 - ・デジタルコードレス電話機（ファクス）
 - ・その他、Bluetooth (TM) 対応機器やVICS（道路交通情報通信システム）など
- 本機は、2.4～2.4835GHzの全帯域を使用する無線設備です。移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH-SS方式」、与干渉距離は80mです。本機には、それを示すマークが貼付されています。

<電波に関するご注意>

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源プラグを抜いて、お客様ご相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センターへお問い合わせください。

- ナショナル/パナソニック お客様ご相談センター（365日/受付9時～20時）
電話（フリーダイヤル）0120-878-365（携帯電話・PHSでのご利用は…06-6907-1187）
FAX（フリーダイヤル）0120-878-236

カメラの使用条件/電波の干渉について

品番	VL-W811K
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

■カメラの設置条件

《こんなところには設置しない（変形、故障、誤動作の原因）》

- ・直射日光が当たる場所や外灯の真下など、周囲の温度が高くなる場所
- ・冷暖房室外機の近くなど、温度変化の激しい場所
- ・振動・衝撃や、反響の多い場所
- ・油污れがついたり、蒸気がかかる場所
- ・火気・熱器具や、磁石などの磁気の近く
- ・携帯電話など強い電波を発する製品の近く
- ・前方にガラスなど、温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物がある場所
- ・人感（熱）センサーの検知範囲（下記）に洗濯物、カーテン、植木、交通量の多い道路がある場所
- ・硫化水素、リン、アンモニア、炭素、酸、ほこり、有毒ガスなどの発生する場所
- ・海岸の近くや直接潮風が当たる場所、温泉地の硫黄環境
（塩害などにより製品寿命が短くなることがあります。）
- ・昼間でも木陰などで影になったり、夜でも外灯で明るくなるなど、明るさが変わりやすい場所
- ・下記のように逆光になる場所（人の顔が暗く映り、識別しにくくなります。）

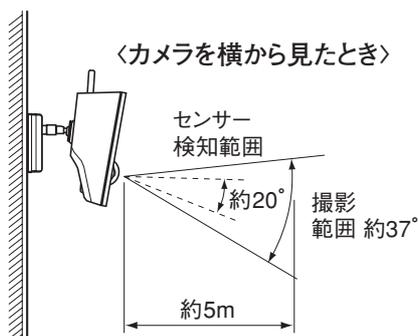


《カメラの人感（熱）センサーの検知範囲と撮影範囲について》

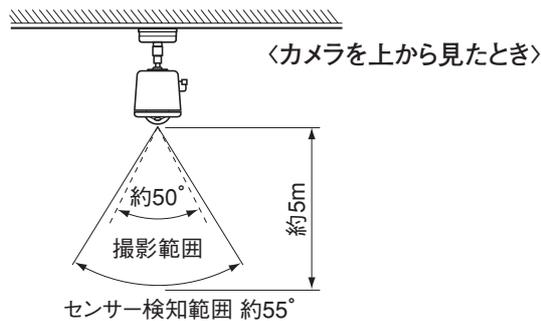
人感（熱）センサーは、温度をもつものから自然に放射される赤外線によって生じる温度変化を検知します。そのため、人や動物などの動きを検知できます。

センサーの検知範囲とカメラの撮影範囲

（周囲の温度が約20℃のとき）



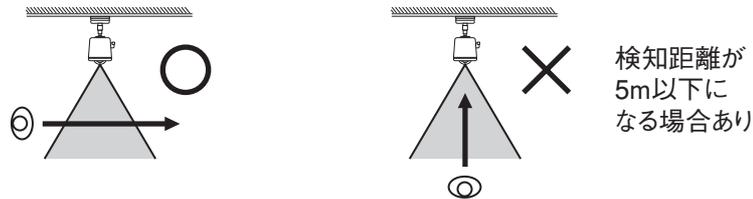
※カメラ正面で約5m
（カメラを高さ2mに設置したとき）
上側、下側では短くなります。



※カメラ正面で約5m
（カメラを高さ2mに設置したとき）
左側、右側では短くなります。

カメラの設置条件	
品番	VL-W811K
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

- センサーは横からの動きによる温度変化を検知しやすく、正面からの動きは検知しにくくなります。カメラの前を人が横切るような場所に設置してください（詳細は次ページ、「人感（熱）センサーの仕組みとカメラの画質について」を参照してください）。



- センサーの検知範囲は、環境温度や対象の移動スピードなどの条件により大きく変化します。設置場所に注意してください。
- 人感（熱）センサーは次の場合にも反応することがあります。
 - ・犬、猫などの小動物・車など・検知範囲内に入る雨や雪
 - ・風でカメラ周辺の温度が変化した場合
- 次の場合は、検知範囲内でも人感（熱）センサーが反応しないことがあります。
 - ・夏場のように周囲の環境温度と人の表面温度の差が少ない場合
 - ・冬場など厚手の服を着ている場合
 - ・センサー部に雨、雪が付いた場合
- 冬場のように温度が低いときは、検知距離が5mより長くなる場合があります。

《プライバシー・肖像権について》

カメラの設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利と一般的に言われています。

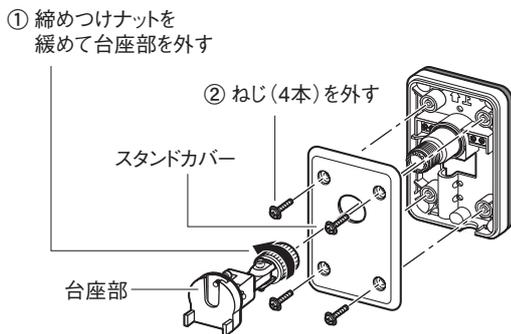
■工事上の注意

- 電源について：必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。
 - (1) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）に容易に手が届くこと。
 - (2) 3.0mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。
ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。
- 本機は電気設備技術基準による施工を行ってください。
 - ・使用する埋込みボックス（電源線とその他の信号配線材の間）に、堅牢な隔壁を設ける。
 - ・金属ボックスを使用する場合はD種接地を行う。
 - ・配線材はAC600V以上の絶縁電線を使用する。
- 屋外設置で電源プラグを使用するときは、本機の近くに屋外用の電源コンセントや電源ボックスを設置してください。（電源プラグは防水対応ではありません。）
※電源コンセントや電源ボックスの設置については、配線工事業者へご相談ください。
- 空中配線はしないでください。（カメラが雷などの影響を受けることがあります。）

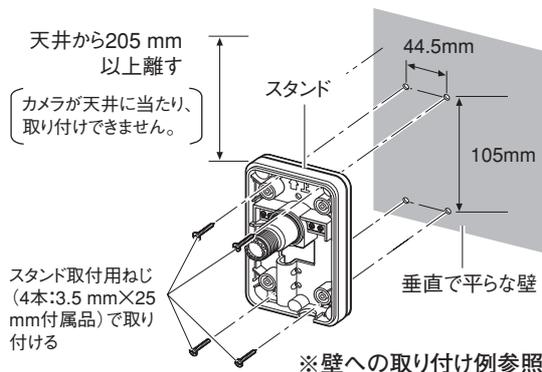
カメラの設置条件	
品番	VL-W811K
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

■カメラの取り付けについて (I)

1. スタンドカバーを外す



2. スタンドを壁面に確実に取り付ける



- 不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁には取り付けない

石膏ボード・ALC (軽量気泡コンクリート)
・コンクリートブロック・厚さ2.5 cm
以下のベニヤ板など。

※落下により、けがの原因になります。

- スタンドは「↑」の表示が上側になるように取り付ける

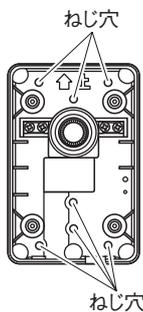


※上記以外の向きで取り付けると、内部に雨水などが入り、火災・感電の原因になります。

壁への取り付け例

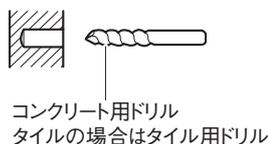
(例) 材質がモルタルやコンクリートの場合

- ① 取り付け位置にスタンドを合わせる
- ② 使用するねじ穴 (上下各2か所) にスタンド取付用ねじを軽くねじ込み、壁にしるしを付ける
- ③ しるしに合わせて下記のように穴をあけ、アンカー (市販品) を差し込む

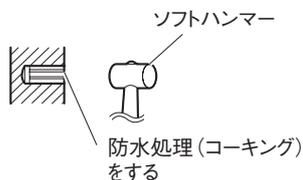


- ねじ穴は7か所あります。使いやすい穴を上下2か所ずつ (計4か所) 固定してください。ねじ穴部の壁は薄いので、スタンド取付用ねじを軽くねじ込むとあぎます。

1. アンカーのサイズに合わせて、穴をあける



2. アンカーを差し込む (ソフトハンマーで軽くたたく)



※壁にあけるドリルの径の大きさは、購入したアンカーの説明書を参照してください。

※市販品のアンカーを購入する際は、本機に付属のスタンド取付用ねじ (3.5 mm×25 mm) に対応していることを確認してください。

※工事は販売店に依頼されることをお勧めします。壁への穴あけ工事について、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※モルタル塗壁の場合は、穴あけにより、古い壁が落ちることがありますので、注意して穴あけをしてください。

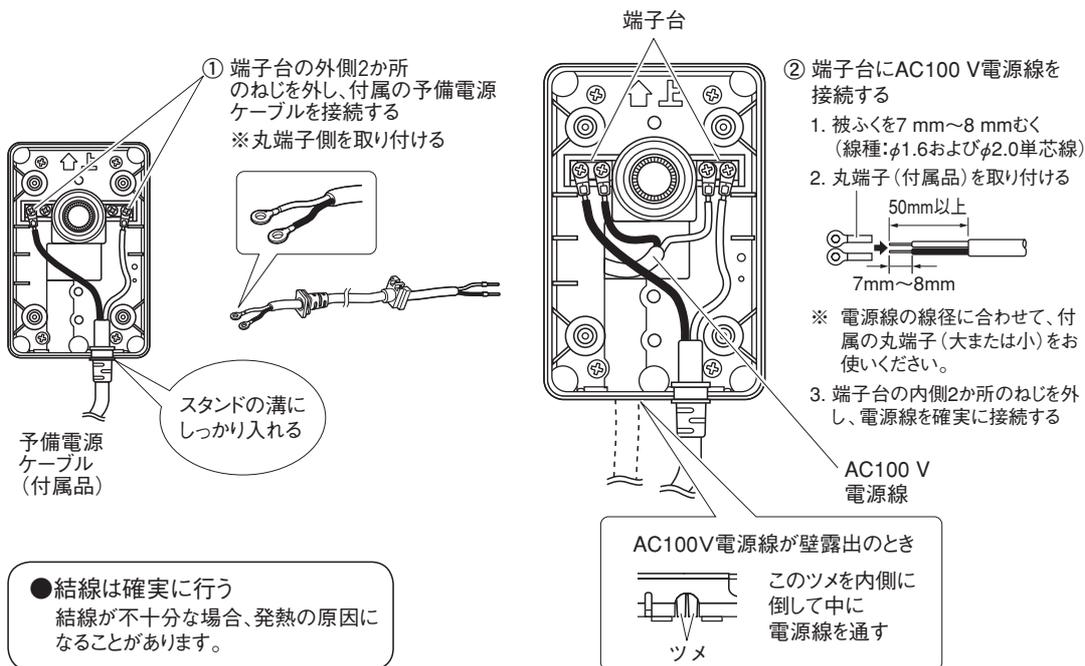
カメラの取り付けについて (I)

品番	VL-W811K
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

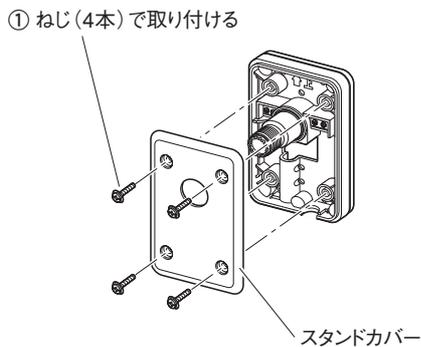
■カメラの取り付けについて (Ⅱ)

3. スタンド電源線を接続する [AC100V電源線を直結する場合のみ]

※電気工事士の資格が必要



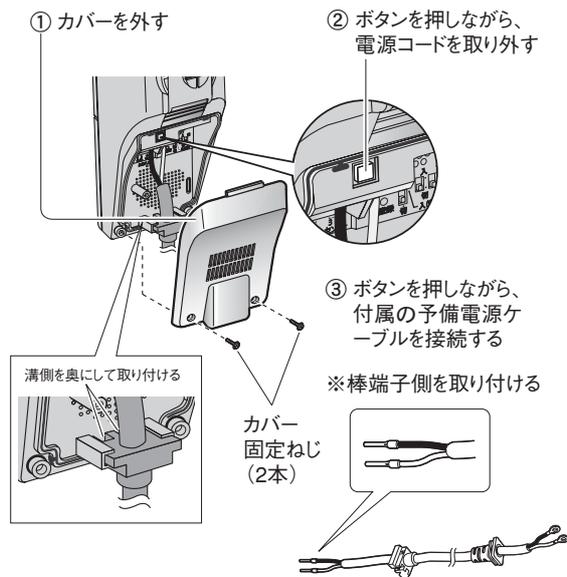
4. スタンドカバーを取り付ける



5. カメラに電源線を接続する [AC100V電源線を直結する場合のみ]

※電気工事士の資格が必要

●カバーを外す際に前面のレンズカバーを傷つけないよう、柔らかい布などを下に敷いてから行ってください。



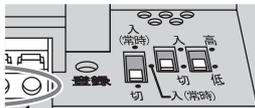
カメラの取り付けについて (Ⅱ)

品番	VL-W811K
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

■カメラの取り付けについて (Ⅲ)

6. スイッチを確認して配線材を接続する (外部入力機器がある場合のみ)

- ① 「検知前撮りスイッチ」と「LED ライト切替スイッチ」の設定を確認する

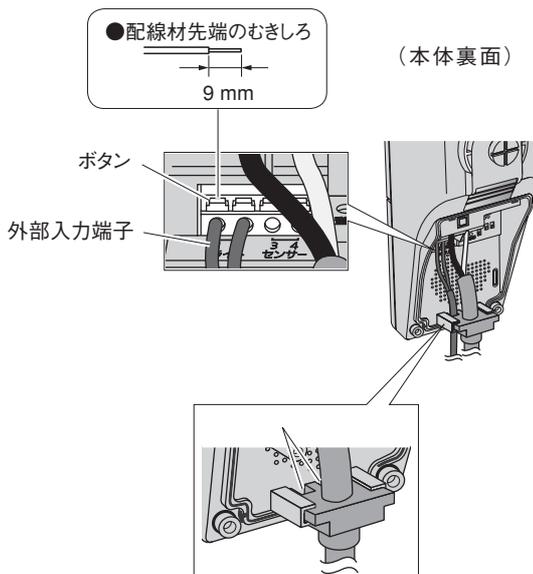


- ② 「外部入力端子」に配線材を接続する

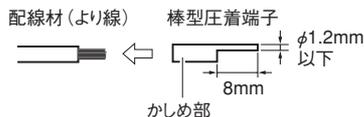
- 「外部入力端子について」(14ページ)に従って正しく接続してください。
- 配線材はコードブッシングの下部を切って通してください。



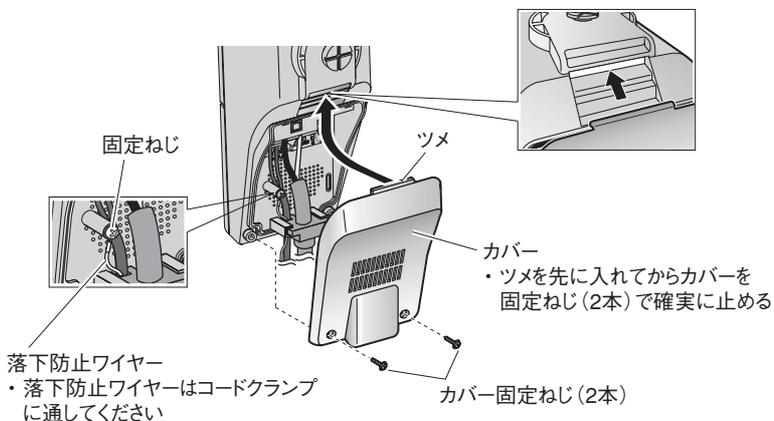
- 配線材の抜き差しは、各端子の上にあるボタンをドライバーの先などで押しながら行ってください。



- 配線材の線種が「より線」の場合は、棒型圧着端子 (市販品) を取り付けから接続してください。(配線材の隣りどうしがショートしないようにしてください。)



7. 落下防止ワイヤーを取付け、カバーを閉める



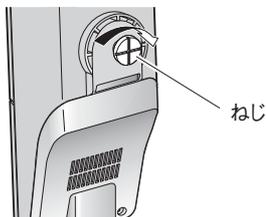
カメラの取り付けについて (Ⅲ)

品番	VL-W811K
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ

■カメラの取り付けについて (Ⅳ)

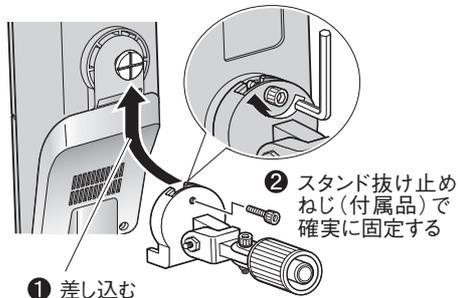
8. カメラを取り付け、角度を調整する

① 本体裏面のねじを確実に締める。

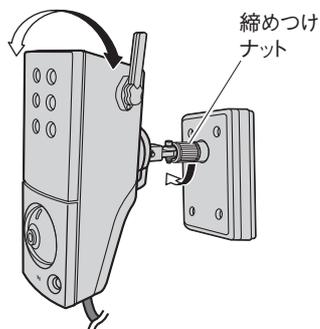


② 雲台をカメラに取り付ける。

●取り付けは、付属の六角レンチで確実にねじを締めてください。

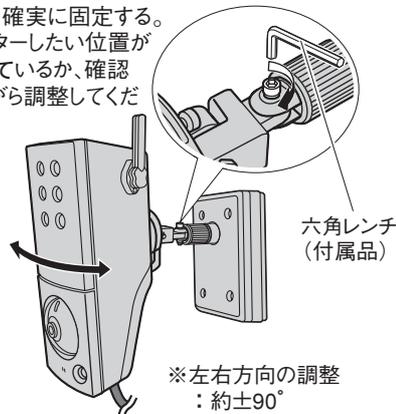


③ カメラの傾きを決め、締めつけナットを回してカメラを確実に固定する。



④ 左右方向を調整し、六角レンチ(付属品)でねじを締めて、確実に固定する。

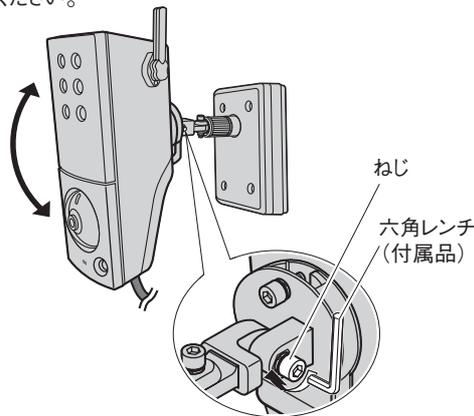
●モニターしたい位置が映っているか、確認しながら調整してください。



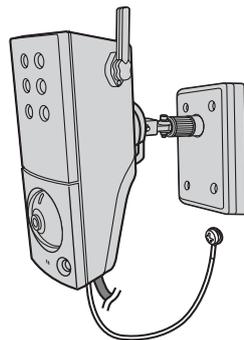
⑤ カメラの上下方向の角度を調整し、六角レンチ(付属品)でねじを締めて、確実に固定する。

●モニターしたい位置が映っているか、確認しながら調整してください。

●壁などで六角レンチで固定がむずかしいときは、ねじを一度取ってワッシャごと反対側に取付け固定してください。



⑥ 落下防止ワイヤーを壁面に固定する。



9. 電源プラグをコンセント(AC100V)に差し込む [電源プラグで使用する場合のみ]

カメラの取り付けについて (Ⅳ)

品番	VL-W811K
品名	センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ